

第6学年 社会科学習指導案

1 単元名 「住みよいくらしと政治の働き」

2 単元について

現在の日本は、少子高齢化社会の進展，地球温暖化，食料自給率の低下など，解決すべき様々な問題に直面している。

原油価格の高騰による物価の上昇も大きな問題となり，ガソリン価格の上昇は市民の生活を圧迫し，経済に様々な影響を与えることとなった。そのため，道路特定財源となる揮発油(ガソリン)税などへの関心も高まっている。第169回国会においては，揮発油(ガソリン)税の暫定税率を復活させる改正租税特別措置法などの税制関連法や道路特定財源制度を維持することを内容とした道路整備費財源特例法について審議されたが，与野党の主張が対立し「ガソリン国会」とまで言われた。道路整備費財源特例法は衆議院で再可決され成立したが，これに先立ち政府は，同法の規定にかかわらず道路特定財源制度を廃止して2009年度から道路特定財源を一般財源化する方針を閣議決定している。そのため，今後は財源の用途のほか，道路整備にどの程度の財源を割り当てるかや税率の扱いなどが焦点となることが予想される。

このように問題が山積する現代の社会では，税収の確保や予算配分を初めとする国や地方公共団体の政治の在り方が注目される。そこで，本単元においては，児童の生活に深く関係している公共施設の建設や社会の中で議論されている道路建設を取り上げながら，地方公共団体や国の政治の働きについて調べ考え，理解させることを目指す。

本学級では，大部分の児童が課題解決に粘り強く取り組んでいる。また，考えを積極的に発言できる児童も多い。他者の意見を自己の考えと比較しながら聞き，質問をしたり異なる意見を述べたりして発言をつなげていく場面も徐々に増えてきている。意見を述べる際に，その根拠を示そうとする意識も高い。しかし，資料を読み取り，課題解決のために必要な資料を集めたり選択したりして自己の考え(主張)をつくり上げる態度や能力は十分に育っているとはいえない。

また，学級全体として社会的事象への関心は高いが，自分たちがよく利用する公共施設がどのような目的でどのようにしてつくられたのか，などという社会の仕組みや政治の働きにまで目を向け理解している児童は少ない。

指導に当たっては，まず，児童の身近にあり関心も高い市の公共施設を取り上げ，どのような目的で，また，どのような過程を経て設立されたのかについて調べ，考える活動に取り組ませる。そうすることで，国民生活には地方公共団体の政治の働きが反映していることを理解させる。その後，国の政治の働きにまで視野を広げさせる。選挙の仕組みや国会の働き，内閣や裁判所の働きについて調べさせ，我が国の政治が民主政治の考え方に基づいて国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解させる。その上で，社会の様々な問題や国の予算，道路に関する様々な資料を提示し，道路建設と関係付けながら読み取らせることで，道路建設についての問題意識を高める。そして，「道路建設のための予算を増やし，もっとたくさんの道路をつくるべきだ」，「道路建設のための予算を減らし，道路をつくることをひかえるべきだ」という二つの立場のどちらを支持するのかについて価値判断を行わせる。その際，道路建設のメリットやデメリット，支持する方策を実現することにより得られるメリットなどを価値判断の根拠として示させ，合理的な主張ができるようにする。価値判断の根拠を分析させ，それぞれの立場がどのような社会の実現及び

どのような人々の生活の安定と向上を目指しているのかを明確にした後に、それらを考慮しての価値判断を行わせる。価値判断を基に互いの考えを交流し合える場を設け、児童が自己の考えを振り返り、再構築することができるようにし、最終的な意思決定へとつなげていく。

これら一連の活動を通して、国や地方公共団体の政治が国民生活の安定と向上のために大切な働きをしていることを理解させるとともに、社会の様々な問題に関心をもち、民主的な国家・社会の形成者、すなわち市民・国民として主体的に考え判断する態度や能力を育成していきたい。

3 単元の総括目標

地方公共団体や国の政治の働きについて調べ、考えさせる活動を通して、我が国の政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることが理解できるようにする。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の 技能・表現	社会的事象についての 知識・理解
国民生活の安定と向上を図る民主政治の働きや仕組み、考え方について興味をもち、意欲的に調べたり考えたりしようとする。	地方公共団体や国の政治について調べたことを基に、国民生活の安定や向上を図るための政治の在り方について、くらしと結び付けながら具体的に考えることができる。	身近な公共施設や道路の建設を調べるときに、国や地方公共団体の政治の働きについて資料を活用して調べるとともに、政治の在り方について考え、それらを整理して表現することができる。	議会政治の働きや選挙の意味、政治の働きと税金の使われ方の関係などについて調べ理解することを通して、国民生活の安定と向上のために国や地方公共団体の政治が大切な働きをしていることを理解することができる。

5 単元の指導計画 (全10時間)

学習活動	教師の指導・支援	評価【評価方法】	配
1 市の施設Aは、市民の願いや社会の動き、国の法律などに応じて、市が建設計画案・予算案を作成し、市議会で決定してつくられるのだという一連の流れを理解する。	<p>これまでの体験やパンフレットなどの資料を基に、「どんな人が利用しているか」「どんな設備があるか」「だれ(何)が設立したのか」という3つの視点ごとに、分かること(分かっていること)を自由に出し合わせ、知識や情報の共有化を図る。その際、写真や館内案内図などを掲示し、視覚的に理解しやすくする。</p> <p>知識や情報を基に、市が施設を設立した根拠について考えさせる。</p> <p>根拠を整理しながら、市がどのような社会の実現を目指して施設を設立したのかを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市が市の施設Aを設立した根拠について考えることができる。 <p>【ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の施設Aが設立されるまでの過程を理解することができる。 <p>【評価テスト】</p>	1

	<p>児童の考えと教師からの情報を基に、施設が設立されるまでの過程をまとめ理解させる。</p>		
<p>学習課題 市のしせつAが、なぜ、どのようにしてつくられたかを調べよう。</p>			
2 選挙の仕組みを調べ、理解する。	<p>「選挙とは何か。」と質問し調べさせ、選挙について大まかにまとめ理解させる。まとめた内容を深める質問を投げ掛け、投票や立候補することができる年齢、投票率、選挙の意義などについて調べさせる。分かったことを図やグラフを活用させながら分かりやすくまとめさせる。</p> <p>問題点として投票率の低下を取り上げ、その解決策を考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を基に調べたことを工夫してまとめることができる。 【ノート】 選挙の仕組みについて理解することができる。 【評価テスト】 	1
<p>学習課題 選挙の仕組みを調べよう。</p>			
3 国会の働きを調べ、理解する。	<p>はじめに国会の働きについておおまかにまとめ理解させる。まとめた内容を深める質問を投げ掛け、二院制、法律ができるまでの流れ、国会の仕事、国の予算について調べさせる。</p> <p>分かったことを図やグラフなどを活用させながら分かりやすくまとめさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を基に調べたことを工夫してまとめることができる。【ノート】 国会の働きについて理解することができる。 【評価テスト】 	2
<p>学習課題 国会の働きを調べよう。</p>			
4 内閣及び裁判所の働きを調べ、理解する。	<p>資料を基に調べさせ、分かったことを図やグラフを活用させながら分かりやすくまとめさせる。</p> <p>国会、内閣、裁判所と国民の関係を図を用いて整理しながらまとめ、三権分立について理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 内閣や裁判所の仕組みや働き及び三権分立の仕組みやねらいを理解することができる。 【評価テスト】 	1
<p>学習課題 内閣と裁判所の働きを調べよう。</p>			

<p>5 「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」、「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」という二つの立場のどちらを支持するのかについて価値判断を行う。</p>	<p>国の予算や道路建設にかかわる様々な資料を提示し、それらの資料から分かる事実を確認させる。</p> <p>価値判断を行なう場面ではワークシートを活用させ、資料などからの事実及びその事実を関係付けるなどして導き出される道路をつくることでのメリットやデメリット、それぞれの立場の主張を実現することで得られるメリットなどを、根拠として順を追って表現できるようにする。</p> <p>価値判断を紹介させる。ワークシートにそれぞれの根拠を整理しながら記述させ、他方の立場について理解できるようにして価値判断につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 道路建設に関心をもち、資料を活用して道路建設のメリットとデメリットを考えることができる。【発言】 資料や情報を活用して道路建設の在り方について筋道を立てて考えることができる。【ワークシート】 	<p>3</p>
<p>学習課題 「道路をもっとつくる」「道路をつくることをひかえる」について、立場を決定しよう。</p>			
<p>6 価値判断の根拠の中にどのような価値が含まれているのかを分析する。分析を基に、価値判断を行う。</p>	<p>前時でまとめたワークシートを基に、それぞれの立場の主張ごとの事実及びその事実から導き出される理由（メリット・デメリット）などを発表させ、確認させる。</p> <p>それぞれの立場が、どのような社会の実現を目指しているのか、どのような人々の生活の安定・向上を目指しているのかを考えさせながら、価値を分析させる。</p> <p>どちらの立場を優先させるべきかについて価値判断を行わせ、意見を出し合わさせる。その中で、「地域の人々の生活は考えなくていいのか」「お年寄りの生活を保護しなくていいのか」「道路の近くの人々の健康はどうするのか」などと問い掛け、「地域の人々や困っている人々、国民全体、世界の人々など、それぞれの人々の生活の安定と向上を考慮しながら政治を行う」ことの重要性に気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの立場の主張を分析し、どのような価値が含まれているのかを考えることができる。【ワークシート】 	<p>1 本時</p>
<p>学習課題 それぞれの立場の主張が、どんな社会を目指しているのかを考えよう。</p>			

<p>7 これまでの学習を振り返り、道路建設についての最終的な自分の考えをまとめる。</p>	<p>価値判断 を検討する中でまとめた「地域の人々や困っている人々、国民全体、世界の人々など、それぞれの人々の生活の安定と向上を考慮しながら政治を行う」ことの重要性を確認させる。ワークシートを活用させ、それを実現するためには道路建設をどのように進めていくべきと考えるかを、根拠を明確にしながら記述させる。</p> <p>より広い視野で政治について考える態度を養うために、考えを紹介し合わせ、様々な考えに触れさせる。</p>	<p>・ これまでに学習したことを基に、道路建設の在り方について、筋道を立てて考えをもつことができる。</p> <p>【ワークシート】</p>	<p>1</p>
<p>学習課題 これからの道路建設について、自分の考えをまとめよう。</p>			

6 本時の目標

「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」のそれぞれの立場の主張を分析し、どのような価値が含まれているのかを考えることができる。(社会的な思考・判断)

7 本時の展開 (9 / 10)

学習活動	教師の指導・支援								
<p>1 価値判断 での「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」、 「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」のそれぞれの立場の主張を振り返り、確認する。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。</p>	<p>前時でまとめたワークシートを基に、それぞれの立場の主張ごとの事実及びその事実から導き出されるメリット・デメリット（理由）などを発表させ、根拠を明確にさせる。</p>								
<p>学習課題 それぞれの立場の主張が、どんな社会を目指しているのかを考えよう。</p>									
<p>3 それぞれの立場が目指す社会を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">目指す社会</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">(だれだれ)のよりよい生活</div> <p>【予想される児童の考え】</p>	<p>それぞれの立場の根拠ごとに、どのような社会の実現を目指しているのかを簡潔に表現させる。さらに、それらの社会がどのような人々の生活の安定・向上を目指しているのかを考えさせながら、価値を分析させる。 【評価】</p>								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 立場 「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」 </td> <td style="padding: 5px;"> 立場 「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活 </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 助け合う社会 ↓ 困っている人々のよりよい生活 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 農業を守る社会 ↓ 農家の人々・日本の人々のよりよい生活 </td> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;"> 安心で便利な社会 ↓ 地域(地方)の人々のよりよい生活 </td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>	立場 「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」	立場 「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」	環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活	助け合う社会 ↓ 困っている人々のよりよい生活	農業を守る社会 ↓ 農家の人々・日本の人々のよりよい生活	環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活	安心で便利な社会 ↓ 地域(地方)の人々のよりよい生活		
立場 「道路建設のための予算を増やし、もっとたくさんの道路をつくるべきだ」	立場 「道路建設のための予算を減らし、道路をつくることをひかえるべきだ」								
環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活	助け合う社会 ↓ 困っている人々のよりよい生活								
農業を守る社会 ↓ 農家の人々・日本の人々のよりよい生活	環境にやさしい社会 ↓ 世界の人々のよりよい生活								
安心で便利な社会 ↓ 地域(地方)の人々のよりよい生活									
<p>4 どちらの立場を優先させるべきかについて価値判断 を行う。</p> <p>5 価値判断 での支持する立場とその根拠を主張する。</p>	<p>ワークシートに、それぞれの立場の主張をどの程度支持するのかを書き表す欄を設けておく。それぞれの主張の事実と理由、目指す社会を基に、丸の大きさで支持する程度を示させ、それらをもとにして価値判断 を行わせる。</p> <p>支持する立場とその根拠を自由に発言させる。友達の意見に対して、同意や付</p>								

<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習を知る。</p>	<p>け加えの意見，質問，反論などを出させ発言をつなげさせていく。</p> <p>児童の発言後，それぞれの立場の主張に対し，「地域の人々の生活は考えなくていいのか」「お年寄りの生活を保護しなくていいのか」「道路の近くの人の健康はどうするのか」などと問い掛け，地域の人々や困っている人々，国民全体，世界の人々など，それぞれの人々の生活の安定と向上を考慮しながら政治を行うことの重要性に気付かせる。</p> <p>これまでの学習を基に，自分の主張をまとめることを伝える。</p>
---	---

8 本時の評価

評価規準	<p>「道路建設のための予算を増やし，もっとたくさんの道路をつくるべきだ」，「道路建設のための予算を減らし，道路をつくることをひかえるべきだ」のそれぞれの立場の主張を分析し，どのような価値が含まれているのかを考えることができる。</p>		
評価基準 支援	A	B	C
	<p>それぞれの立場の根拠ごとに，どのような社会の実現を目指しているのか，それらの社会がどのような人々の生活の安定・向上を目指しているのかを考えることができる。</p> <p>考えの根拠を説明できるように準備させる。</p>	<p>それぞれの立場の根拠を基に，どのような社会の実現を目指しているのかを考えることができる。</p> <p>その方策を実現することで，どのような人々の生活がよくなるのかを，具体的な場面を想像させながら考えさせる。</p>	<p>それぞれ立場の根拠を基に，どのような社会の実現を目指しているのかを考えることができない。</p> <p>目指す社会を示したカードを準備し，具体的な場面を想像させながら選択させる。</p>
評価方法	ワークシート		